



令和5年 岐阜県鉱工業指数(年報)

【令和2年基準】

1 概況

生産指数	112.7	前年比1.7%の低下
出荷指数	111.0	前年比0.2%の低下
在庫指数	117.9	前年比3.1%の低下

令和5年1年間の生産指数は、輸送機械工業等が上昇したものの、プラスチック製品工業、電気機械工業等が低下したため、前年比1.7%の低下となった。

また、出荷指数は、プラスチック製品工業、電気機械工業等が低下したため0.2%の低下となり、在庫指数は、プラスチック製品工業、繊維工業等が低下したため3.1%の低下となった。

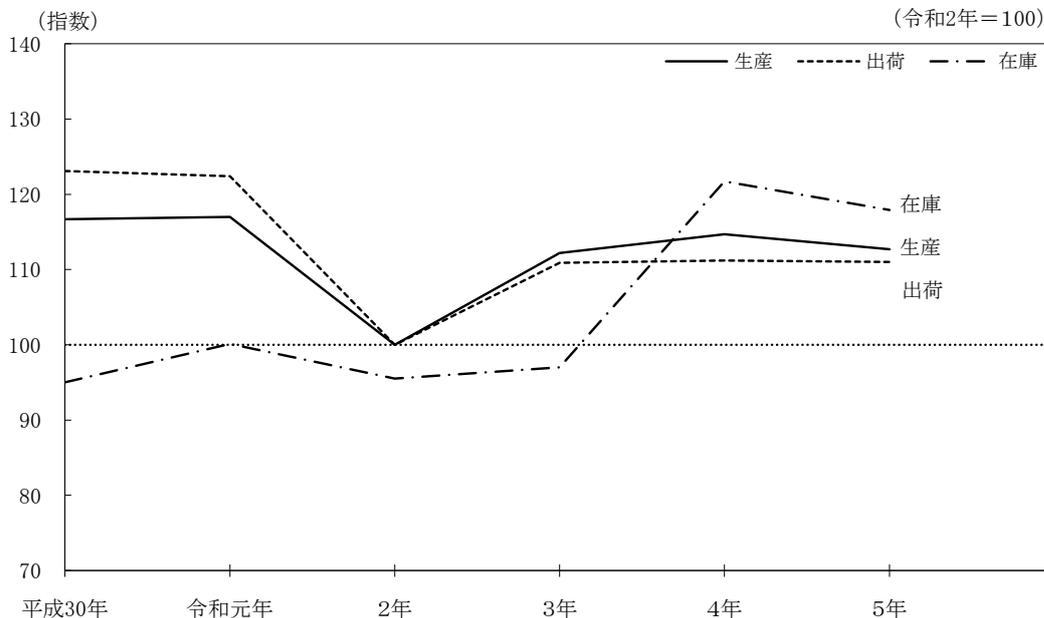
(図-1)

(令和2年=100)

区分	生産		出荷		在庫	
	指数	前年比(%)	指数	前年比(%)	指数	前年比(%)
平成30年	116.7	—	123.1	—	95.0	—
令和元	117.0	0.3	122.4	△ 0.6	100.1	5.4
2	100.0	△ 14.5	100.0	△ 18.3	95.5	△ 4.6
3	112.2	12.2	110.9	10.9	97.0	1.6
4	114.7	2.2	111.2	0.3	121.7	25.5
5	112.7	△ 1.7	111.0	△ 0.2	117.9	△ 3.1

(注) 年指数の値は、生産及び出荷指数は月指数の平均値、在庫指数は年末値による。

図-1 岐阜県鉱工業指数の推移(原指数)



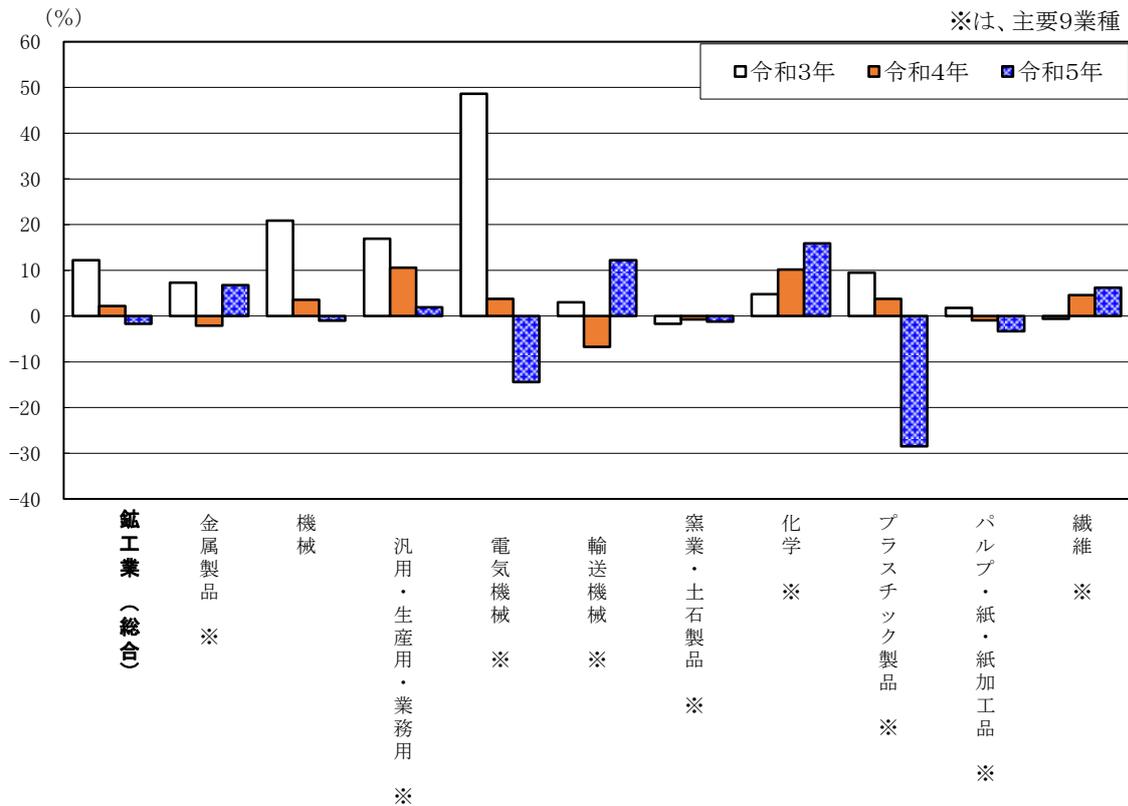
2 主要業種別生産指数の前年比

主要9業種(※)の生産指数を業種別に前年と比べると、上昇したのは、金属製品工業(前年比6.8%)、汎用・生産用・業務用機械工業(同1.9%)、輸送機械工業(同12.2%)、化学工業(同15.9%)、繊維工業(同6.2%)の5業種となった。

一方、低下したのは、電気機械工業(同△14.4%)、窯業・土石製品工業(同△1.2%)、プラスチック製品工業(同△28.5%)、パルプ・紙・紙加工品工業(同△3.3%)の4業種となった。

(図-2、表-1)

図-2 主要業種別生産指数の前年比の推移(原指数)



3 全国、中部との生産指数の比較

令和5年の全国における生産指数は、前年比1.3%の低下であった。また、中部においては、2.2%の上昇であった。

(令和2年=100)

区分	岐阜県		全国		中部	
	生産指数	前年比 (%)	生産指数	前年比 (%)	生産指数	前年比 (%)
平成30年	116.7	—	114.6	—	117.1	—
令和元	117.0	0.3	111.6	△ 2.6	115.1	△ 1.7
2	100.0	△ 14.5	100.0	△ 10.4	100.0	△ 13.1
3	112.2	12.2	105.4	5.4	107.2	7.2
4	114.7	2.2	105.3	△ 0.1	104.8	△ 2.2
5	112.7	△ 1.7	103.9	△ 1.3	107.1	2.2

(注)「中部」とは、中部経済産業局管内5県(愛知、三重、石川、富山、岐阜)

資料: 経済産業省、中部経済産業局

<令和5年 岐阜県鋳工業指数の詳細について>

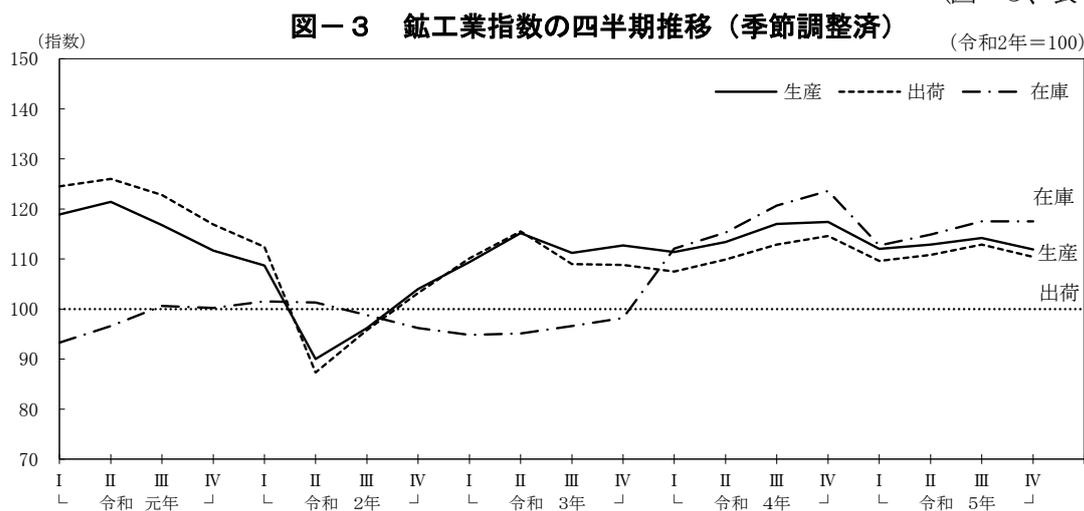
1 鋳工業指数の四半期推移

令和5年の生産指数を四半期ごとに比べると、第1期は4.6%の低下、第2期は0.8%、第3期は1.2%の上昇、第4期は2.0%の低下となった。

また、出荷指数も同様に、第1期が低下、第2期、第3期が上昇、第4期が低下となった。

なお、在庫指数は第1期が低下、第2期、第3期が上昇、第4期が横ばいとなった。

(図-3、表-2)

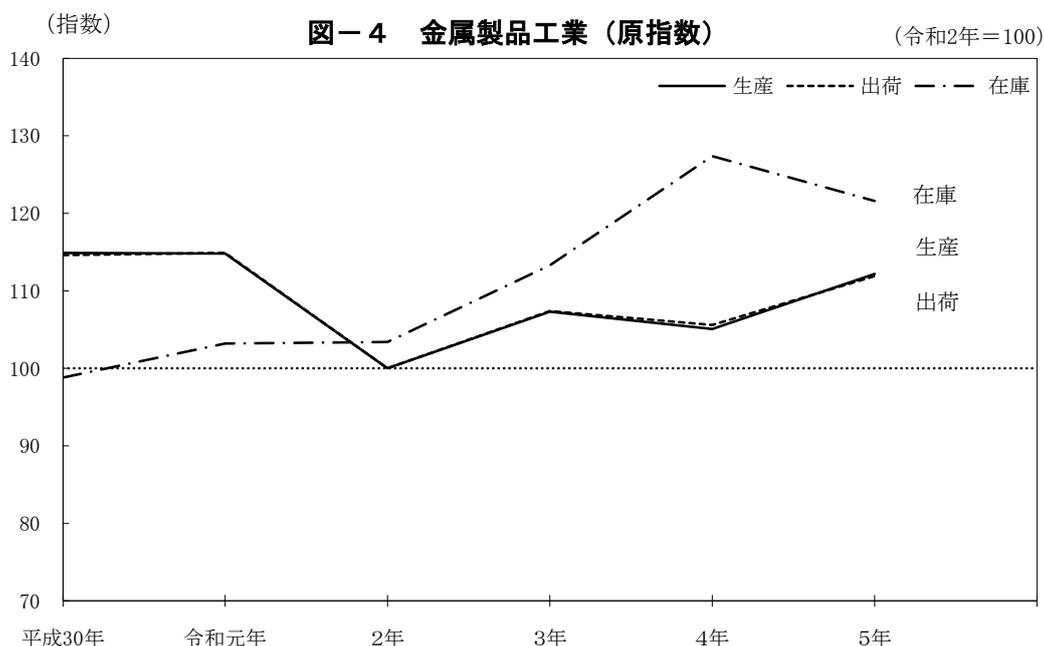


2 主要業種別指数の動向

(1) 金属製品工業

- ・ 生産指数は、ボルト・ナット等が増加したため、前年比6.8%の上昇となった。
- ・ 出荷指数は、ボルト・ナット等が増加したため、前年比6.0%の上昇となった。
- ・ 在庫指数は、はさみ等が減少したため、前年比4.6%の低下となった。

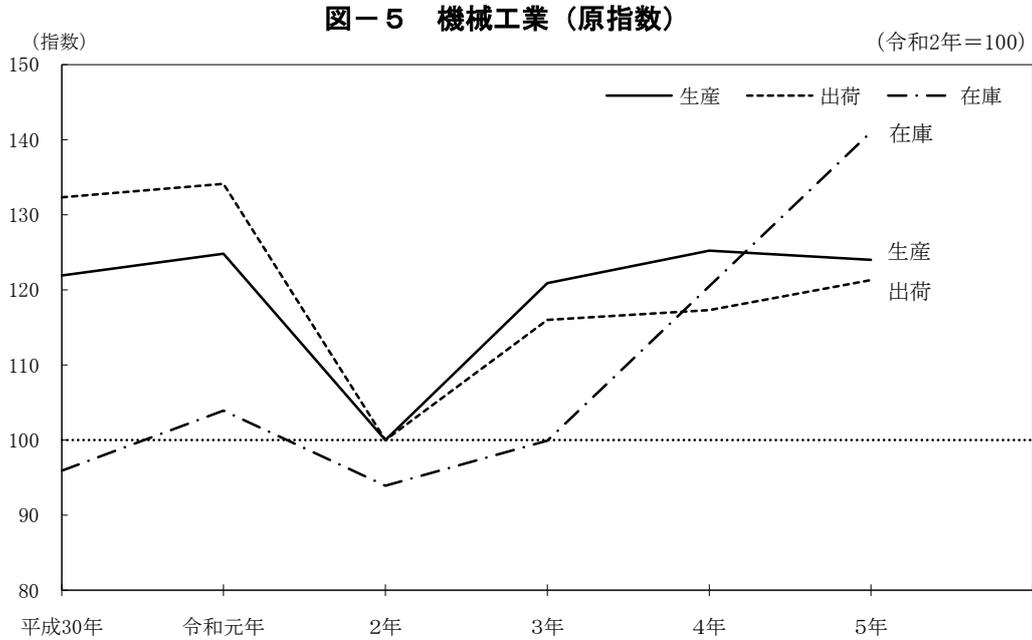
(図-4、表-1)



(2) 機械工業

- ・ 生産指数は、輸送機械工業、汎用・生産用・業務用機械工業が上昇したものの、電気機械工業が低下したため、前年比1.0%の低下となった。
- ・ 出荷指数は、前年比3.4%の上昇となった。
- ・ 在庫指数は、前年比17.0%の上昇となった。

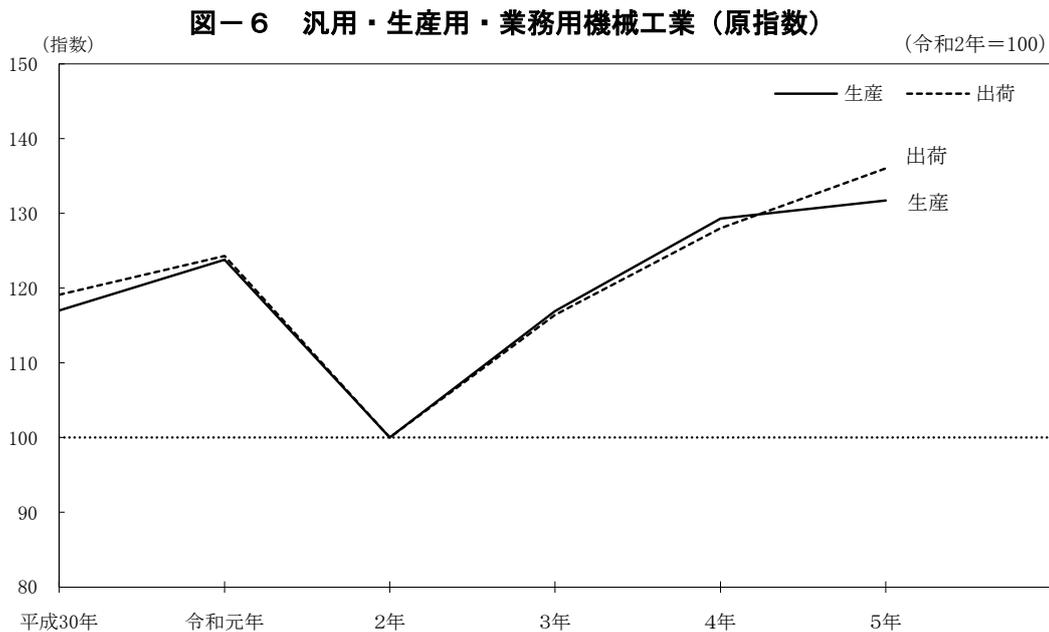
(図-5、表-1)



(2) -ア 汎用・生産用・業務用機械工業

- ・ 生産指数は、研削盤等が増加したため、前年比1.9%の上昇となった。
- ・ 出荷数は、研削盤等が増加したため、前年比6.3%の上昇となった。

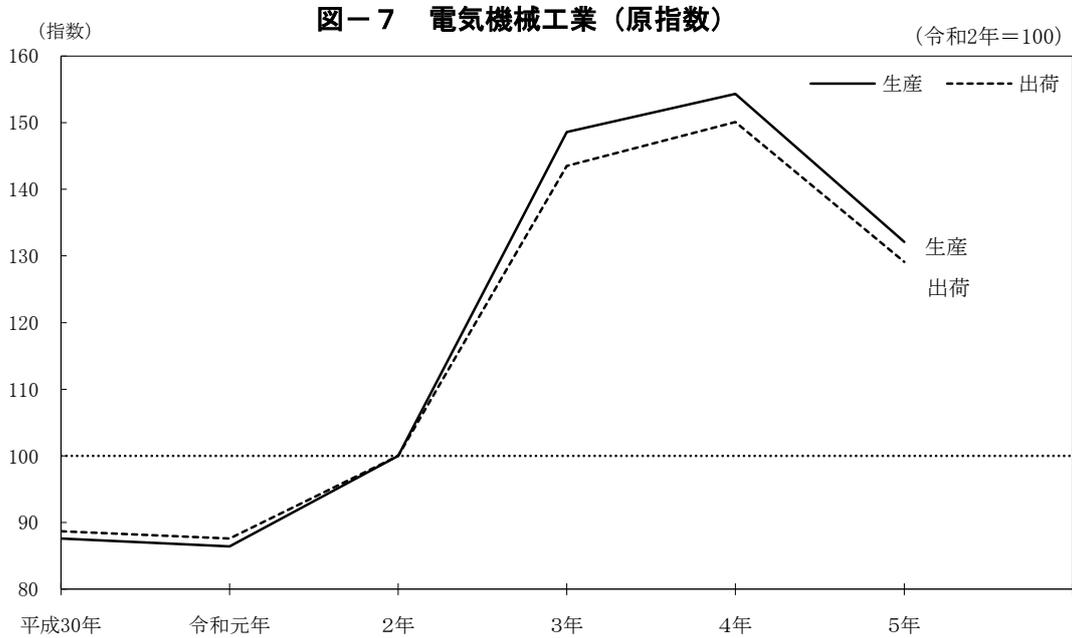
(図-6、表-1)



(2) -イ 電気機械工業

- ・ 生産指数は、電子回路基板等が減少したため、前年比14.4%の低下となった。
- ・ 出荷指数は、電子回路基板等が減少したため、前年比14.0%の低下となった。

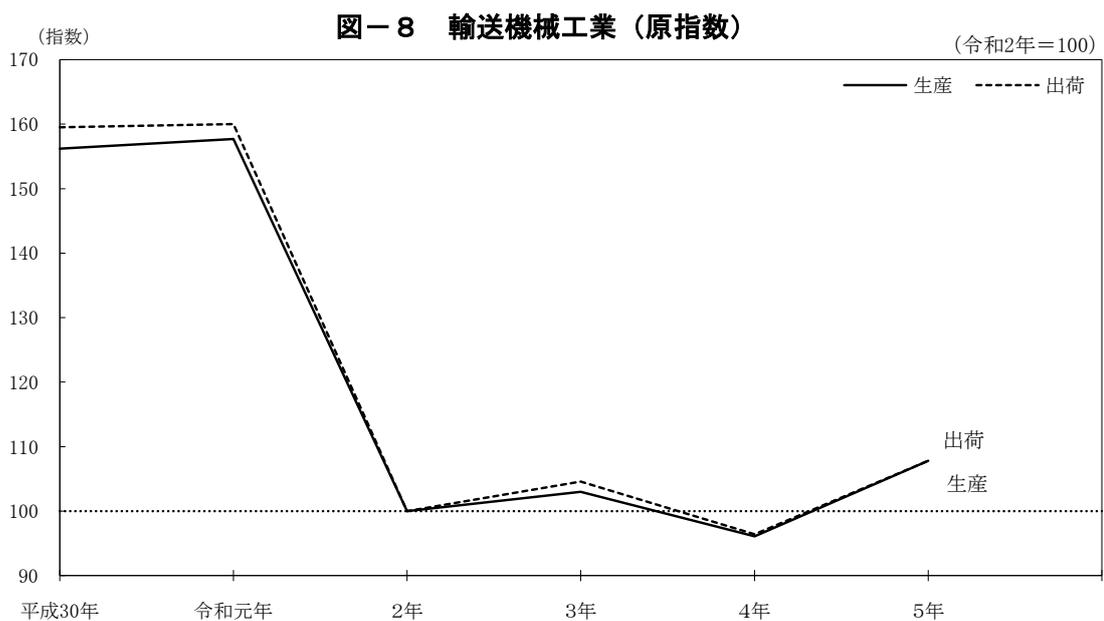
(図-7、表-1)



(2) -ウ 輸送機械工業

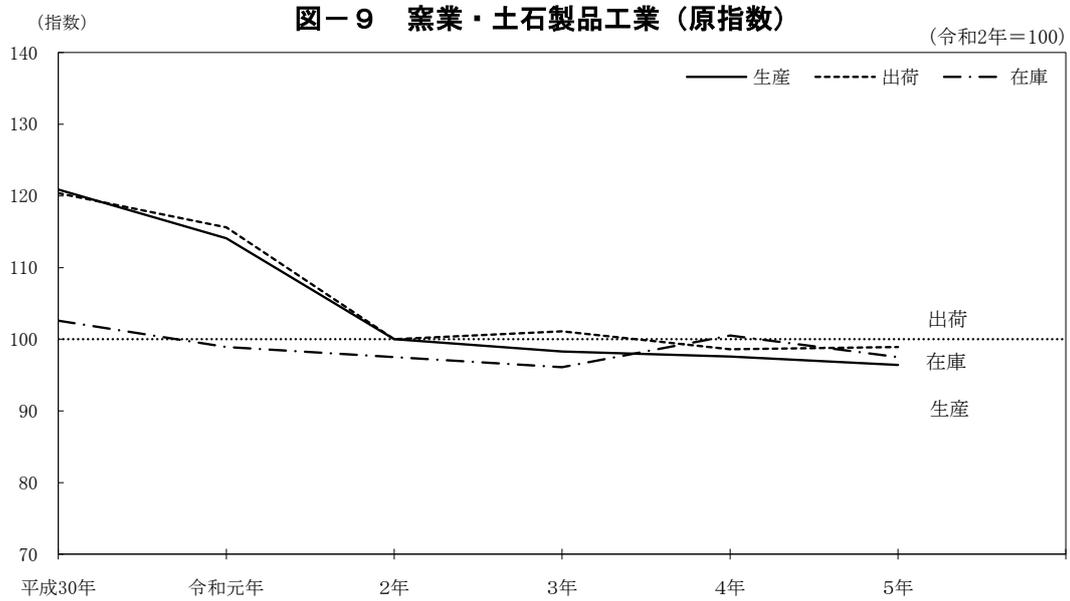
- ・ 生産指数は、前年比12.2%の上昇となった。
- ・ 出荷指数は、前年比11.8%の上昇となった。

(図-8、表-1)



(3) 窯業・土石製品工業

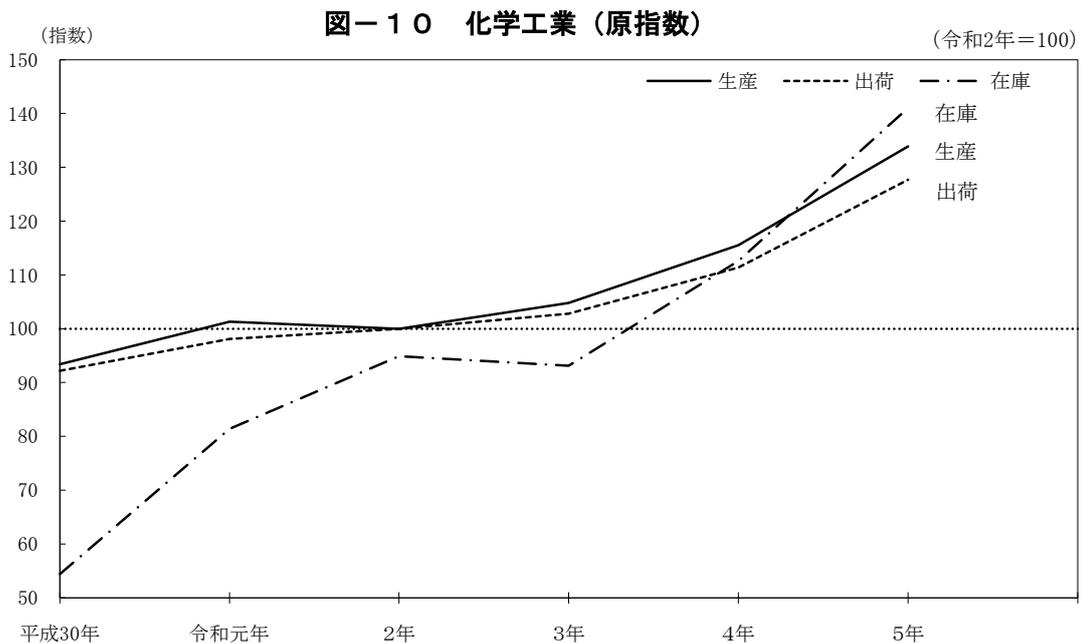
- ・ 生産指数は、研削砥石等が減少したため、前年比1.2%の低下となった。
 - ・ 出荷指数は、触媒担体・セラミックフィルタ等が増加したため、前年比0.3%の上昇となった。
 - ・ 在庫指数は、触媒担体・セラミックフィルタ等が減少したため、前年比3.0%の低下となった。
- (図-9、表-1)



(4) 化学工業

- ・ 生産指数は、医薬品等が増加したため、前年比15.9%の上昇となった。
- ・ 出荷指数は、医薬品等が増加したため、前年比14.6%の上昇となった。
- ・ 在庫指数は、前年比25.2%の上昇となった。

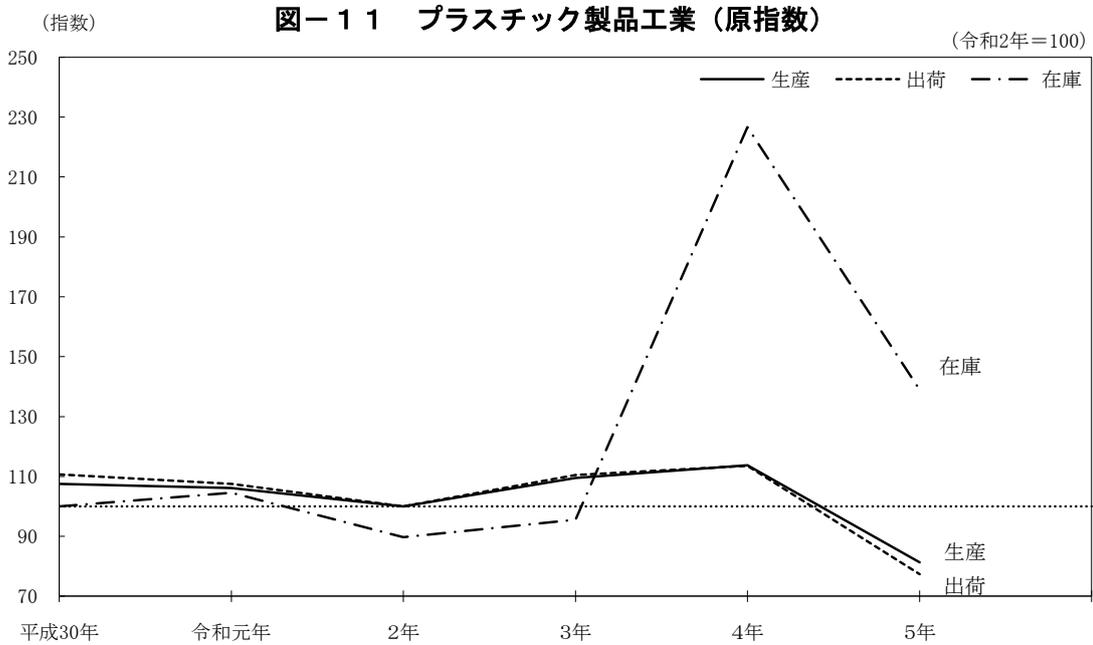
(図-10、表-1)



(5) プラスチック製品工業

- ・ 生産指数は、プラスチック製容器等が減少したため、前年比28.5%の低下となった。
- ・ 出荷指数は、プラスチック製容器等が減少したため、前年比31.8%の低下となった。
- ・ 在庫指数は、プラスチック製容器等が減少したため、前年比38.7%の低下となった。

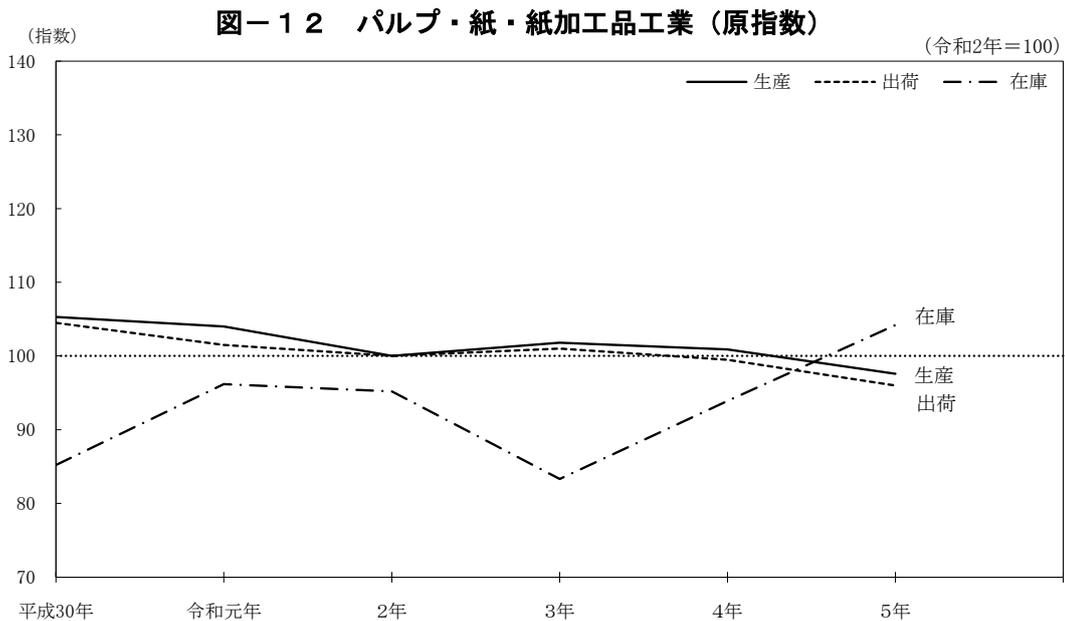
(図-11、表-1)



(6) パルプ・紙・紙加工品工業

- ・ 生産指数は、段ボール等が減少したため、前年比3.3%の低下となった。
- ・ 出荷指数は、雑種紙等が減少したため、前年比3.5%の低下となった。
- ・ 在庫指数は、前年比11.0%の上昇となった。

(図-12、表-1)



(7) 繊維工業

- ・ 生産指数は、不織布等が増加したため、前年比6.2%の上昇となった。
- ・ 出荷指数は、ニット生地染色整理等が減少したため、前年比1.7%の低下となった。
- ・ 在庫指数は、前年比16.8%の低下となった。

(図-13、表-1)

